

令和7年度 校園教育ビジョン評価シート

校 長 田村 裕司

スクール・ミッション	志を高く掲げ、多様な人々とのかわりの中で豊かに学び、新たな時代を切り拓く生徒を育成する学校
------------	---

グラデュエーション・ポリシー	○ 社会性に富み、他と協調できる心豊かな人間性を身に付けた生徒 ○ 志を高く掲げ、たくましく生き抜く気力・体力を身に付けた生徒 ○ 社会の変化に対応できる能力と国際感覚を身に付けた生徒
----------------	--

重点項目1 (何をを目指すのか)	資質・能力を育成する授業の質的な向上	1
課題・実態	・「授業を通して学ぶ意欲及び思考力・判断力・表現力を向上させているか」の項目に対して、令和6年度は90%以上の生徒が肯定的な評価をしている。 ・「端末の活用がされているか」の項目で「とてもそう思う」と回答した生徒が、各学年30%程度だった。より一層効果的なICT機器の活用を検討する必要がある。	
指標 (達成基準)	①「生徒アンケート」②「保護者アンケート」③「学校自己評価」において、それぞれ授業に関連する項目で肯定的な回答が80%以上の達成	
方策・手立て (何をやるのか)	①授業や放課後学習などにおける個別のニーズに応じた学習環境整備	1－1
	②ICT機器の利活用等を通じた「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実	3－3
	③授業改善研修会等を通して先進校の実践や最新の教育動向を知る環境整備	1－1
中間評価と改善策	評価	
総括評価と次年度へ	評価	
重点項目2 (何をを目指すのか)	キャリア教育の充実	2/3
課題・実態	・「学校は生徒に進路情報の提供や進路講話などのキャリア教育を行い、進路実現に向けた取組を行っているか」の項目に対して、90%以上の生徒が肯定的な評価をしている。 ・大学進学先の先を見据えて、学ぶ意欲及び自己調整力の啓発する取組が必要である。	
指標 (達成基準)	①「生徒アンケート」②「保護者アンケート」③「学校自己評価」において、それぞれキャリア教育に関連する項目で肯定的な回答が80%以上の達成	
方策・手立て (何をやるのか)	①社会や地域に出て学ぶ交流体験型学習の充実	9－3
	②学校外の様々な人とかわる総合探究の推進	1－2
	③理数や国際理解教育などの体験活動の充実	3－2
中間評価と改善策	評価	
総括評価と次年度へ	評価	

教育活動全体を通して（学校の課題など必要に応じて）

重点項目〇 (何をを目指すのか)	人権を尊重し、多様性を認め合う心の育成	2
課題・実態	・「学校は生徒の悩みや相談に丁寧に応じていますか」の項目に、90%以上の生徒が肯定的な評価をしている。 ・自ら考え、判断し決定する力や他者に共感する力を一層伸ばす必要がある。	
指標 (達成基準)	①「生徒アンケート」②「保護者アンケート」③「学校自己評価」において、生徒指導や教育相談に関連する項目で肯定的な回答が80%以上の達成	
方策・手立て (何をやるのか)	①生徒が主体的に取り組む活動の充実（生徒会、各種行事、部活動）	2－3
	②生徒指導部、特別支援委員会、学年部の連携による「積極的な生徒指導」の推進	2－2
	③一人一人のニーズに応じた相談体制の構築や特別支援教育の充実	4－1
中間評価と改善策	評価	
総括評価と次年度へ	評価	